

## 実績概要 (ホームページ掲載用)

研究又は活動のテーマ	高校生の入職促進
団体名	山梨県立青洲高等学校
代表者	石坂 務

## (目的)

高校生の建設産業への入職を促進していくためには、建設産業の現状と魅力が生徒はもとより保護者にもいまだに十分に伝わっていない現状があると考え、建設産業への理解をより深めてもらう必要性を感じている。

建設産業は国土・地域・人々の暮らしを守り支える重要な仕事でやりがいのある仕事であることを、生徒ならびに保護者へ授業やガイダンス等で情報発信を行っているが、相変わらず「きつい・汚い・危険」の「3K」のイメージが根強くあり入職への大きな障害となっている。現在建設業界は「給料が良い・休暇が取れる・希望が持てる」の「新3K」への転換をするべく、ICT施工の推進をはじめとする労働環境の大幅な改善を行っている現状をしっかりと理解させたい。

日立建機デモサイトではICT施工に関する展示や概要説明、実機によるデモンストレーションの見学および試乗体験により学ぶことができる。そこでの経験は学校での授業では得られない経験となり、土木施工についての学びを深めることができ、入職促進の一助になると考える。

## (概要)

茨城県土浦市本郷301にある日立建機日本株式会社ICTデモサイトは、国土交通省の推進する「I-Construction」に対応するICT施工に関するデモンストレーションや技術講習会を実施する施設である。

当日は現地到着後、デモサイトの概要説明、建設業界のDXの推進、ICT施工の現状ならびに最新のドローン活用による3D測量の概要ならびにデータの活用方法などの講義および油圧ショベルや双腕作業機アスタコなどの実機試乗体験を通じて、最新の建設技術を理解する機会となった。生徒達は講師の説明に真剣に耳を傾け、メモを取るなど積極的に講義に臨んだ。さらに実機試乗体験では、やや緊張しながらも大型重機に乗り込み、指導官のレクチャーを受けながら生き生きとした表情で楽しそうに操作していた。また「I-Construction」についての情報を得て、ICT活用により快適な職場環境になりつつあることがわかり、建設現場の変容ぶりを知る良い機会ともなった。これまでの生徒の持っていた「きつい・汚い・危険」という「3K」のイメージが根本から覆され、魅力ある業界であることを知ることができたようである。研修を通じ生徒たちの建設業界に対する見方や考え方が大きく変わり、建設業を目指していた生徒はよりいっそう土木技術者への思いが強くなり、またこれまで建設業にあまり興味のなかった生徒の多くが、前向きに建設業を志すきっかけになったと感じている。